



# 成隣だより

平成29年11月 1日  
第7号  
昭島市立成隣小学校  
校長 加賀田 真理

## 「アクティブライフ研究実践校」中間報告会を終えて

副校長 真砂野 裕

先週23日(月)に「アクティブライフ研究実践校」中間報告会を実施しました。これまでもお伝えしてきたように、これは、本校が東京都教育委員会より平成28・29・30年度の3年間にわたり委嘱された事業で、都内では小学校20校が先行実施している体力向上事業です。

当日は台風の影響も懸念される中、市内外より60名をこえる関係者にお集まりいただきました。ここであらためて、保護者・地域の皆様に当日の主な内容をお知らせします。

### 1 公開授業 (①3年1組「毎日の生活と健康」②6年2組「体力を高める運動」)

①3年1組の授業で着目したのは『起床から登校までの時間』です。

小学生～高校生約2万人の調査(H26学校保健会)によれば、起床から登校までの時間が長い(60分間目安)児童・生徒ほど、「朝食を食べている・排便習慣が身に付いている・睡眠不足を感じない」という結果が出ています。授業ではこの事実をもとに、児童一人一人が自分の生活の課題発見・解決に迫りました。

②6年2組の授業では、「学び合い」に重点をおきました。用具操作(例 フラフープ)やバランス遊びの動きを高めるポイントについて、お互いに気付いたことを伝え合い、実際に試して体感する学習を展開しました。

### 2 「元気アップタイム」(プレイリーダーによる運動遊び)

当日はご参会いただいた先生方に「元気アップタイム」をご覧いただきました。本校が目指したのは、児童の生活に「時間・空間・仲間」の『三間(さんま)』を取り戻し、運動遊びを活性化することです。

そこにプレイリーダー(職員)が常駐し児童の遊びを促します。三間をつなぐのが「元気アップカード」です。児童はこのカードに掲載された遊びに参加し、シール(各回ごとの色別)を貼ることで遊んだ内容を記録していきます。この元気アップタイムと同時に、体育委員会の児童が中休みに企画する「元気アッププロジェクト」にも取り組んでいます。

### 3 中間報告(これまでの取組の紹介)

中間報告では、上記の内容に加え、新体力テストの最高記録を顕彰する「成隣ギネス」、本校オリジナルの「成隣エクササイズ」、投力向上をねらった「投てき板設置・紙でっぼう大会」などをご紹介しました。参会された先生方からも多くの賛同を得られたと自負しています。

今後も職員一丸となり、子供たちの健やかな育ちを支えていきます。